

新智識

國農業界
空中空素と故

三井、三菱、住友等故國の各富豪を一括して帝國防衛獨立の第一歩たる可く戰時に於ては火薬製造に又半時に於ては耕地肥料として必要缺く可らざる空素を無限の空氣中より製造する。

◆一大會社設立要務を帶び米國會項目歸米往訪の「日本」記者によく問題の空中空素製造特權も無く、高峰讓吉氏は事米國會社の沙済み愈々實行の運びに至つたが同品の

◆戦時必須品たるは暫く指き今後平和の故國農産界に與ふる効果たるや實に莫大なるものがあつて殊に現過般の如き聖代に不祥なる未験動の

於て其の實行に着手す可く熱心に奔走せる薬學、工學博士高峰讓吉氏は

曰く「問題の空中空素製造特權も無く、高峰讓吉氏は

項目歸米往訪の「日本」記者によく問題の空中空素製造特權も無く、高峰讓吉氏は

◆人生の迷路
フローラ耕地 松永敏夫

人生の迷路
文藝

人生の迷路
芳郎

人生の迷路
カナンナヴァルの夜

人生の迷路
お伽姫

人生の迷路
お伽姫

人生の迷路
月見亭

人生の迷路
木澤商店

人生の迷路
日本金兩替

賴りとして、小さい鐵槌を振つて、岩石を碎いて山懐を開いて行く工夫の如に、人生の迷路を開拓する一人の工夫でありたい、否な、なければ

ならない、やがて私の前に如何なるけたまゝ、眠つて居る新聞賣子、それ

に、偶然と偶然との間から迷ひ出

タームの流れは永久に愈まない。

永却の過去から永却の未來へと奔騰の涙に潤うてゐるか、紅色の愛に

する時の流れの急潭に浮ぶ泡沫の如

燃えてゐるか、灰色の死の如

うにかかれてゐるか、悲しみがし

か、歎喜の焰に彩られてゐるか、悲

しみがしらぬ心に抱き合つた私は

只だ神のみ、命のみ、時の流れの

み知る、人生の迷路だ。

その下に夢みてゐた私の精神は何時

見る度に、私の白い意識の世界は

明るい意識の世界へ連れ込まれ

益々されて來た、私が矛盾と謎から

てゐた私が度々立たせられた驚異で

恐怖と懷疑の前に此世の真相を凝

る度に驚駆の目を見張つたであらう、混

現に折角盡力してゐたが遂に今日の

結果を見るに至つて衷心喜悦に堪へ

ない次第尚ほ自分は有益事業の移植

すれば自分で自らも此の事業の實

なる此際安價なる空素原料の供給は單に生産率の増進を計つて農家に利益を與ふるのみに止まらず延いては過般の如き聖代に不祥なる未験動の勃發を未然に防ぐ爲めには今後平和の故國農産界に與ふる効果たるや實に莫大なるものがあつて殊に現在の日本の如く耕地瘦せ面積不充分の如き聖代に不祥なる未験動の

◆戦時必須品たるは暫く指き今後平和の故國農産界に與ふる効果たるや實に莫大なるものがあつて殊に現在の日本の如く耕地瘦せ面積不充分の如き聖代に不祥なる未験動の

◆特權を米國に於ける有名な大化學教授佐藤定吉氏の發明になれる大豆よりセルロイドを製造する「佐藤ライト」の製法

◆人生の迷路
芳郎

◆人生の迷路
カナンナヴァルの夜

◆人生の迷路
お伽姫

◆人生の迷路
月見亭

◆人生の迷路
木澤商店

◆人生の迷路
日本金兩替

●金銀貨多少に拘らず両替可申上候

●プラジル語獨習

●英語、日本語の三國會話に出来居る

●紙數三百十二頁、送料共六ミル

●發行所 東京 穗英舍

●内單語 大多數なり本書はラジル語

●故言語の素朴ある御方には別に便

●紙數三百十二頁、送料共六ミル

●英語、日本語の三國會話に出来居る

●前記に未だ一點の光明さへ見出せない、私は時に私の弱少に泣く、然るが、日本も學者の力に依り追々世界的の事業を計畫するに至れるは仲介に斡旋、其後歸米後無事其の盡力を爲し以つて老後の樂しみと譲渡し契約を成立したが今後共に譲り渡す所であることを考へてゐる。云々このこと

●前記に未だ一點の光明さへ見出せない、私は時に私の弱少に泣く、然るが、日本も學者の力に依り追々世界的の事業を計畫するに至れるは仲介に斡旋、其後歸米後無事其の盡力を爲し以つて老後の樂しみと譲り渡す所であることを考へてゐる。云々このこと

◆西園寺侯佛國着 日本講和正使西園寺公望氏は本日午後巴里に到着せられたり(巴里發二月廿七日電)
 ◆クレマンソ一氏平癒 兄子の難より退れたるクレマンソ一氏は全く健康に復し本日午後ボアンカレー大統領を訪問し更らに陸軍省にモルドック將軍を訪ひ種々打合をなしたる後ホツシユ將軍及びタルデュー將軍と長時間談合せり(巴里發二月廿八日電)

◆聯合國海軍と獨逸の損失 大戰中に於ける聯合國海軍の損失は七十五萬三千噸にして内英國は戦闘艦十三艘、驅逐艦六十四、潛航艇五十合計五十五萬噸を失ひ佛國は十一萬噸、伊太利七萬六千噸、米北萬七千噸の割合なるが獨逸の損失は驅逐艦七十二艘及び潜航艇二百五總計三十五萬噸なり(紐育發三日電)

◆ウヰルソン氏再び渡佛 ウヰルソン大統領は來る十三日又は十四日に再びブレスト港に到着せられ巴里へ直行の上平和準備會に出席せらるべ(巴里發三日電)

◆日本飛行研究團伊太利着 日本飛行研究委員の一團は伊太利に於ける飛行製造研究の爲めガアレゼに到着したり(羅馬二日電)

◆西園寺侯と人種問題 西園寺侯は新聞記者團を引見して「國際聯盟が和平會議に於て討議せらるゝに至れば日本委員は豫て日本政府が抗議する所の人種的差別問題を撤廃すべく極力盡瘁すべし」と聲をせられたり、日本講和使節一行の近藤男も當市に到着せられたり(巴里發四日電)

◆紐育港の同盟罷業 紐育港に於る同盟罷業は激烈にして現に一萬六千人廢業し他の五萬五千の労働者も之れに加擔せんとする傾向を示し爲めに海運業の九割方絶し居れり(紐育發五日電)

◆ウヰルソン大統領出發 ウヰルソン大統領は夫人同道にて再びジョージ・ワシントン號の人さなり本日午前佛國へ向け出發せられたり(紐育發五日電)

◆サントスの大火 ◇廿一、廿二、廿三番倉庫焼失 所屬廿一番及び廿二番中間建物内に積み重ねたるチユッタに何者か煙草の吹殻を投げ棄てたるが原因となり去る三日午後三時サントス船渠會社のチユッタ積みあり又廿一番には州政府の所有に係かる珈琲約一萬一千リ上高ナガル氣分を漂はせて居り遂に廿一、廿二、廿三番の倉庫を全部焼失するに至りたり、急報に接したるサントス消防署は直ちに現状に駆け付け消防に着手し方にはサンバウロ市へ應援隊の急派を促したるを以て當市よりは四十四名より成る消防隊消火材料を携帶して同地に急行したるを又同港に碇泊中の軍艦フロリヤノよりも應援を

◆当地移民組合宛の入電に依れば移殖民を搭載せる郵船行き過ぎを生じたる爲め出帆期未だ会社の「博多丸」は無事ケー不明なり
 ブタウンに寄港來る十七日 頃サントスに入港の豫定な

◆大阪商船の二船 ◇一はリオ一はサントスに碇泊博士は殆ど戸別訪問裏庭から便所まで街は日本人町を視察されたる宮島博士は殆ど戸別訪問裏庭から便所まで

◆彩花飛び香雨降る 平和初頭の謝肉祭 花自動車と假裝群

◆當市第一の華麗街たるアヴィニーダ得て漸く鎮火したるが損害は極めて多くして廿三番倉庫には當州政府所有の珈琲五萬九千俵あり廿二番に於けるものではユッタ、小麦粉及び砂糖在庫し得る所で廿二番及び廿三番中間建物には多量の珈琲を貯蔵せり其の價格は左記の如くな

◆新來の三視察者 吉瀬軍平氏の見送りを辱う。 吉瀬軍平氏の見送りを辱う。 前田利紹、山本養藏の三氏はその着物は何時止むとも見込つかず布哇

◆小林翻譯官歸聖 地の皆さんは宜敷く御傳解願ふことは同氏よりの依頼なり

◆大工雇入 指物大工一名 至急雇入れたし 人事來往 イタコロミー植民地の福川耕地よりデルタ驛に赴かむことす 上塚周平氏二日出発、四日夜行列車リオ港に安着荷物積み卸しの爲め今體に於て可なるも地下室及び裏庭の

◆新來の三視察者 吉田政之進 本會報第二號は先月初めそれく便船にて佛國に渡り戰後の歐洲見物地圖一變所謂高原地帶なれば、珈琲送済みの筈なれ共不着等のため未だ未曾有の大戰終結後最初のカルナヴァルは云ふので茲近年にない大賑を呈されたり(巴里發四日電)

◆柴山氏は北米を経由して歸朝 出發 坂元靖 人事來往 イタコロミー植民地の福川耕地よりデルタ驛に赴かむことす 上塚周平氏二日出発、四日夜行列車リオ港に安着荷物積み卸しの爲め今體に於て可なるも地下室及び裏庭の

◆新來の三視察者 吉田政之進 本會報第二號は先月初めそれく便船にて佛國に渡り戰後の歐洲見物地圖一變所謂高原地帶なれば、珈琲送済みの筈なれ共不着等のため未だ未曾有の大戰終結後最初のカルナヴァルは云ふので茲近年にない大賑を呈されたり(巴里發四日電)



条内

第廿二席 平内阪田の道場にて試合の事
音の見當も分らさりとて馬喰町の宿へ歸る道も分らない、飛だごとを漸くのことで大川橋を向ふへ渡つてお竹蔵までやつて來た、今更親世ア困つたな、サツバリ方角が分らんことになつた、誰かに尋ねて見やう考へながら割下水の屋敷町まで來るこヤツポン／＼といふ勇ましい竹刀の音が聞えます、平内は好きで江戸の剣術といふものは見た事がない、一つ見たいものである』と自分が武藝者の平内だけにヤツボの聲を聞いた日にやア堪らない、彼方此方と其聲を知邊に漸く搜し當てゝ内は自分の腕前を標準にして眺めて見る、立派な唐門の立つた構へ居るのだから塘りません、不平たらえて夫れに進みけやきの看板に『本多家剣術指南役』と黒々と記してあります、平内は暫く様子を見つかりました、坂田藤十郎道場へは直ぐ是れだけの構へは出來るものか、彼處か覗く處はないつて居る、流石は江戸だけに普通的の武藝者になれつて何か言つて居るのは知つて居たば直ぐ是れだけの構へは出來るものか、窓から覗く位なら差支ないと見える、ハテ何處か覗く處はないつて居た、所へ以て來て大口開いてか知らん』と見廻して居る、稽古笑つたから黙つて居れなくなつた心は頭ござらなかつたが耐へ兼ねるが明放してござりますが、出しさせ、出しだせ、無禮な奴があるものちや

然んなことは頗るはしない、武者ないか』松如何にも、稽古を見て窓の下へ寄つて中を差覗く、門弟笑ふといふのは外千萬な奴だつ中を覗いて見てやらう』と既に日足も七つ下り黄昏前であります、立合つて居ります、一段高い所に坐つて批評をして居る男は年頃四十三四總髪下げにして當家の主人か、夫れども師範代か、何れも人間骨柄群を抜いて居りますのが目に勘辨罷り成らんぞ』あはや平内の手

立ちました、今入り代つて出て來た二人の若侍。○『お手柔かに』△御同様でござるや。○『お手柔かに』△御同様でござるアア面白いな、何時でち劍道は花々しいものだ、ソレ危いくないと思ひましたから平内ア、()と門弟を押鎮めて物静かに並んで居る。○『ソレ見なさい』云はないことを云はぬ、宛て胴が隙だらけ全體出來ませぬ、癌に大上段に構へる。○『参つた』

立派でござるや。○『お手柔かに』△御同様でござるアア見なさい、云はないことを云はぬ、宛て胴が隙だらけ全體出來ませぬ、癌に大上段に構へる。○『参つた』

立派でござるや。○『お手柔かに』△御同様でござるアア見なさい、云はないことを云はぬ、宛て胴が隙だらけ全體出來ませぬ、癌に大上段に構へる。○『参つた』

立派でござるや。○『お手柔かに』△御同様でござるアア見なさい、云はないことを云はぬ、宛て胴が隙だらけ全體出來ませぬ、癌に大上段に構へる。○『参つた』

立派でござるや。○『お手柔かに』△御同様でござるアア見なさい、云はないことを云はぬ、宛て胴が隙だらけ全體出來ませぬ、癌に大上段に構へる。○『参つた』

立派でござるや。○『お手柔かに』△御同様でござるアア見なさい、云はないことを云はぬ、宛て胴が隙だらけ全體出來ませぬ、癌に大上段に構へる。○『参つた』

婦人欄

【寄書】

自分を軽視する勿れ

俊子

して居る人々が多いのであります、それで見りや自分の笑つたのは如何平ホウ、これは愈よ迷惑千萬、換言して申しますれば私共の心配苦にも悪かつた、人が泣みづくになつて稽古をして居るのを笑つたのは良所へ彼の總髪の人物進み出で、まして自分をせめるのではなくして、自ら劍道は花々しいものだ、ソレ危いくないと思ひましたから平内ア、()と門弟を押鎮めて物静かに並んで居る。○『ソレ見なさい』云はないことを云はぬ、宛て胴が隙だらけ全體出來ませぬ、癌に大上段に構へる。○『参つた』

立派でござるや。○『お手柔かに』△御同様でござるアア見なさい、云はないことを云はぬ、宛て胴が隙だらけ全體出來ませぬ、癌に大上段に構へる。○『参つた』

立派でござるや。○『お手柔かに』△御同様でござるアア見なさい、云はないことを云はぬ、宛て胴が隙だらけ全體出來ませぬ、癌に大上段に構へる。○『参つた』

美利具比殖民地

○

當社は水質良好、氣候溫和なる珈琲其の他の全作物に適する肥沃地にしてビリグヒ、

アラサツーバの二商業地をさし控へたる絶好殖民地を廉價且つ拂込方法を最も容易に

して日本人諸君に提供す

當社は千三百家族の現住日本人あり創設以來

其の中三百家族の現住日本人あり創設以來

日本専用にも不拘道路四通八達し且つ兒童

教育機關の設備等あり益々同胞の永住的基

礎を鞏固にする

當社は當地入植者に限りパウルウ、ビリグヒ間の無貨車券を交付す

御用の向きは左記宛御照會ありたし

代理人 宮崎八郎
The São Paulo Land, Lumber & Colonization Co.
(Comp. de Terras, Madias e Colonização de S. Paulo)
Est. Birigui. Linha Bauru-Lapura (antiga Noroeste)

ANTUNES DOS SANTOS & COMP.

AGENTES DAS COMPAHNIAS

NIPPON YUSEN KAISHA :: OSAKA SHOSEN KAISHA

大阪商船會社定期船
はわい丸

一週間以内にブエノス解纜の豫定
リオにて船客搭載日本・在来出帆

御用の方は左記の中何れかへ御照會ありたし

三月十四日ケーブタウンに寄港
(Caixa Postal 108)

Rua Vergueiro 15, S. Paulo.

アンツーネスドス、
サンントス會社
(Caixa Postal 237)

Rua Libero Badano 93, S. Paulo.

御用の方は左記の中何れかへ御照會ありたし

三月十六日頃サントス着定

に到る調度品まで他人のために左右せられてこうしたから世間の人があ

あ、したら社會の人がご殆んど自分

と云ふものを忘却し、専ら他人のた

めにして居る風がある様に見えます

云ふ立派な證據ではありませんか、

分と云ふものよりも世間の思惑や社

食は思ひ、衣服、髪から足の先き

に世評や他人のためには強いと

せられて、こうしたから世間の人があ

はありますまい。

云ふものをして居る風がある様に見えます

云ふ立派な證據ではありませんか、

分と云ふものよりも世間の思惑や社

食は思ひ、衣服、髪から足の先き

に世評や他人のためには強いと

せられて、こうしたから世間の人があ

はありますまい。

云ふ立派な證據ではありませんか、

分と云ふものよりも世間の思惑や社

食は思ひ、衣服、髪から足の先き

に世評や他人のためには強いと

せられて、こうしたから世間の人があ

はありますまい。